

実験レポート1

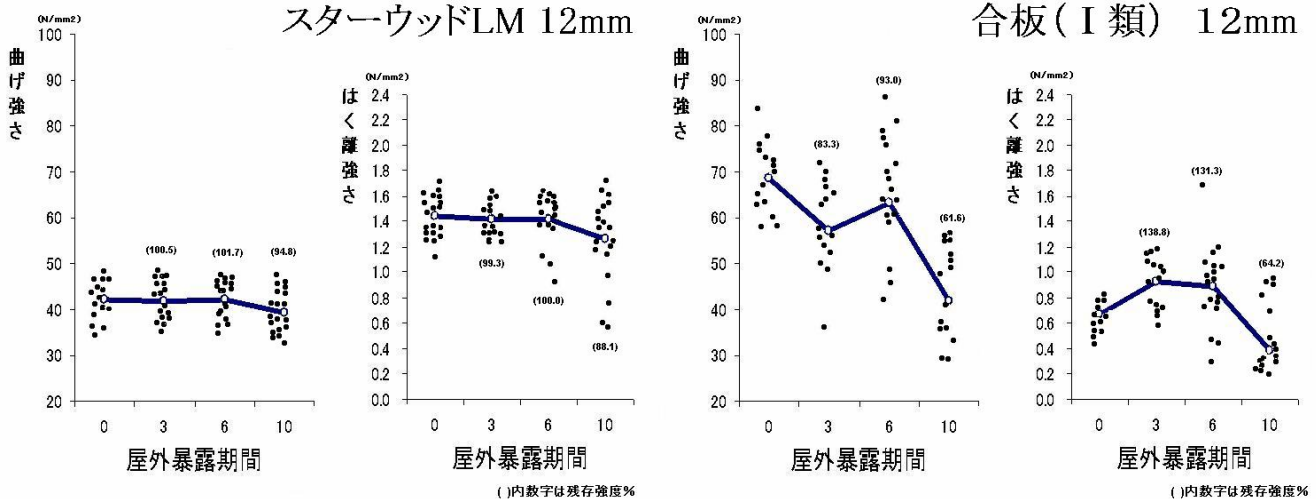
屋外暴露による物性変化

10年間の風雨に耐えたスターウッド 構造用合板以上の耐久性を証明



左:合板 右:MDF

10年間屋外暴露による物性変化

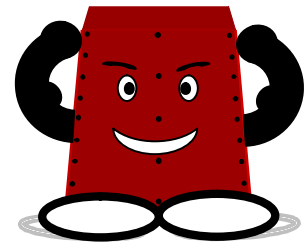


初期強度は大きく合板の方が上回るものの10年後の物性値の比較では、その強度残存率はMDFで約90%前後であるのに対し、合板は約60%強と劣化が大きく、併せて各物性データのばらつきは合板の方が大きくMDFの方が安定していることが分かります。

実験レポート2

シロアリ、腐朽菌にも強さ発揮

他の木質構造材料との差歴然 従来の木質材料にないプラスメリット



木質材料の重量減少率の比較 (単位:%)			
試験体	イエシロアリによるもの ()内は死中率	腐朽菌によるもの	
		オオウズラタケ	カワラタケ
スギ辺材	23 (7)	46	35
構造用スターウッド (無処理)	5 (48)	3	4
構造用スターウッドD (防腐防蟻材混入)	2 (67)	3	3

試験方法: JIS K 1571 「木材保存剤の性能試験方法及び性能基準」

通常の構造用スターウッドは、イエシロアリ及び腐朽菌の影響による重量減少率はスギ辺材と比較しても大きく優位性を保った。また、MDF製造時の接着剤に防腐防蟻剤を混入し生産される「構造用スターウッドD II」は優良保存剤処理木材の認定を取得。シロアリ・腐朽菌に対しても重量減少率3%以下とその性能をさらにパワーアップしました。